



## 旧曾我織物工場 ①

桐生市本町1-7-15  
☎ 0277-46-1111

本町  
エリア

開 お問い合わせください  
交 桐生駅より徒歩20分

大正11年(1922)に建築された大谷石造り5連のノコギリ屋根工場には、屋根に換気塔が立ち、壁には丸型の換気窓が設けられています。重伝建地区内で見られるノコギリ屋根工場では代表的なものです。



## 桐生新町重要伝統的建造物群保存地区 ②

桐生市本町1及び2の全域並びに天神町1の一部  
☎ 0277-46-1111

本町  
エリア

交 桐生駅より徒歩20分

天正19年(1591)に桐生新町が形成されて以来、この地区は織物の中心地として桐生の経済発展を支えてきました。桐生の織物業は大正期から昭和初期に最盛期を迎え、当時の桐生新町の町並みには買継商や糸商、呉服商、染物業など織物業の店舗などが立ち並びました。



## 県繊維工業試験場 ③

桐生市相生町5-46-1  
☎ 0277-52-9950

川相広  
エリア

開 お問い合わせください  
交 相老駅より徒歩10分

明治38年染織業の技術改良のために前身が設立され、のちに桐生と伊勢崎の試験場が統合されて現在の繊維工業試験場となりました。製織・染色・加工の研究ほか、遺伝子組み換えカイコ絹糸研究もを行っています。

## 桐生織塾(旧青木家住宅) ④

桐生市梅田町1-802  
☎ 0277-46-1111

梅菱境  
エリア

交 桐生駅より車で25分

旧青木家住宅は、明治初期に、エンジンやボイラーなどを備えた近代的な工場をもった「成愛社」の発祥の地です。

## 桐生織物記念館 ⑤

桐生市永楽町6-6  
☎ 0277-43-7272

M 本町  
エリア

交 桐生駅より徒歩5分

昭和9年(1934)に桐生織物向上のため設立された桐生織物同業組合の事務所として建てられました。スクラッチタイル張りに青緑色の洋瓦葺、ステンドグラスを用いた洋風の外観となっています。現在は「桐生織物記念館」として一般公開しています。

## 無鄰館 ⑥

桐生市本町1-5-5  
☎ 0277-44-0277

O 本町  
エリア

交 桐生駅より徒歩20分

もとは「北川織物工場」といい、現在は「無鄰館」として建築設計事務所のほか彫刻家、画家たちの創作工房として利用されています。現存するノコギリ屋根工場は、大正5年(1916)に建築され、昭和35年頃まで操業していました。

## 白瀧神社 ⑦

桐生市川内町5-3288  
☎ 0277-46-1111

Q 川相広  
エリア

交 桐生駅より車で15分

京都から織物技術を伝えたという「白瀧姫」など、伝説の織物の神をまつる神社です。境内には耳をあてると機音が聞こえたという「降臨石」と呼ばれる大岩や、樹齢300年以上といわれるケヤキがあり、神秘的な雰囲気があります。

## 織物参考館“紫” ⑧

桐生市東4-2-24  
☎ 0277-45-3111

N 本町  
エリア

交 桐生駅より徒歩15分

「織物参考館“紫”」は、森秀織物の旧釜場、旧整経場、旧ノコギリ屋根工場などを利用した体験型博物館です。館内では、染色や手織の体験や織物の歴史の学習、古織機などを見学することができます。

## 金谷レース工業株式会社 ⑨

桐生市東久方町1-1-55  
☎ 0277-46-1111

P 本町  
エリア

交 桐生駅より徒歩25分

明治時代初頭に創業された織物工場で、工場は大正8年12月完成し当初は6連のノコギリ屋根でした。市内に唯一現存するレンガ造りのノコギリ屋根工場、現在は「ペーカリーカフェ レンガ」として活用されています。

## 彦部家住宅 ⑩

桐生市広沢町6-877  
☎ 0277-52-6596

R 川相広  
エリア

交 北関東太田桐生ICより車で15分

彦部家住宅は関東地方でも最古級の民家建物として有名ですが、この主屋の北側は江戸時代より染織工場として使用されていました。さらに、明治から大正にかけてはノコギリ屋根工場や寄宿舎、医務所を造築し、近代的な織物工場になりました。

# 桐生市の足跡

年代	出来事	スポット
縄文時代		ちあみがいとせき 千網谷戸遺跡など(絹然記念館)
古墳時代		中塚古墳など(新里)
奈良時代		武井廃寺塔跡(新里)
714年	上野ほか4国の調(税)が「あしぎぬ」とされる	
795年	美和神社 官社となる	
801年	山上の多重塔建立される	山上の多重塔(新里)
1180年	桐生六郎が足利忠綱とともに源頼政と戦う	
1350年	桐生国綱が柄杓山城を築く	柄杓山城(梅田) 桐生氏関連
1573年	桐生氏滅ぶ 由良氏の統治へ	鳳仙寺・青蓮寺・普門寺
1590年	徳川家康関東に入国 由良氏は牛久へ移封	
1591年	桐生新町の町立てがはじまる	重伝建地区
1600年	関が原の合戦に際し、旗絹2,410疋献上	桐生天満宮
1661年	桐生領が館林藩領となる	
1656年	桐生新町で牛頭天王祭礼を行う	桐生祇園のはじまり
1738年	西陣から高機が伝わる	栲機姫神社(菱町)
1779年	桐生領が酒井忠休の領地となる	陣屋跡
1877年	森山芳平らジャカード機を購入	桐生織物
1889年	両毛線開通	
1911年	足尾鉄道開通	
1913年	東武鉄道開通	
1919年	桐生倶楽部創立	桐生倶楽部
1921年	市制施行	
1928年	上毛電鉄開通	西桐生駅
1946年	岩宿遺跡が相沢忠洋により発見される	相沢忠洋記念館
1953年	桐生が岡動物園開園	
1971年	桐生が岡遊園地開園	
1986年	桐生川源流が森林浴の森百選に選ばれる	桐生川源流
2005年	ぐんま昆虫の森オープン	
2012年	桐生新町重要伝統的建造物群保存地区選定	
2013年	篠原涼子さんを桐生市観光大使に任命	
2015年	市内6件の文化財が日本遺産に認定される	

絹遺産群

桐生氏

桐生新町の形成

織物近代化最盛期へ

桐生に欠かせない「織物」にまつわるスポットたち